

基盤教育センター（キリスト教人間学領域）専任教員公募

上智大学は、基盤教育センター（キリスト教人間学領域）に所属する専任教員を下記により公募いたします。

記

1. 所 属 上智大学 基盤教育センター キリスト教人間学領域
2. 職名・人員 助教、准教授、または教授 1名  
(助教の場合は年俸制・任期最長5年。ただし昇任の可能性あり。)
3. 専門分野 キリスト教人間学、あるいはその他の領域の場合、研究内容をキリスト教人間学の科目と深く結び付けることが出来る領域であること
4. 担当科目および職務
  - 1) キリスト教人間学領域および基盤教育センターが開講する科目の担当(英語開講科目を含む)
  - 2) 専門分野における研究活動を行い、その成果を学内外に発信するとともに、研究成果を教育内容に反映させること
  - 3) センター・領域運営など、基盤教育センターが必要とする業務
  - 4) その他、本学が必要とする業務\*変更の範囲：法人の定める業務等
5. 応募資格
  - 1) 博士の学位を有する者(含、取得見込み)、または同等の能力があると認められる者。大学またはそれと同等の教育機関での教育歴があることが望ましい。
  - 2) キリスト教(カトリック)を基盤とする上智大学の建学の理念と教育精神に理解があり、同意する者。
  - 3) 日本語で必要な業務ができ、かつ授業運営においては日本語・英語で可能な者。
  - 4) 上記にある職務を遂行するのに十分な能力を有する者。
  - 5) 教育、研究、センター・領域運営、入学試験関連業務・その他本学が必要とする業務に積極的に従事できる者。
  - 6) 上記にある職務を含め、教育に熱意がある者。
6. 待 遇
  - 1) 授業期間：4月～8月初旬、9月下旬～2月初旬
  - 2) 給与および手当：本学規程による。
  - 3) 勤務時間：原則として週4日以上出校すること。
  - 4) 休日：学年暦、学事日程による
  - 5) 個人研究費：本学規程による

- 6) 研究室：あり（机、椅子、電話、ネットワークのプラグあり。パソコンはなし。）
- 7) 社会保険：私学共済（健康保険、厚生年金）、雇用保険、労災保険に加入
7. 着任時期 2027年4月1日
8. 応募方法  
JREC-IN Portal からの Web 応募のみとなります。以下の書類をいずれも PDF 化して圧縮したうえで ZIP ファイル形式にまとめて JREC-IN Portal Web 応募より提出してください。
9. 提出書類
- 1) 履歴書
  - 2) 研究業績リスト
    - 1) および 2) に関しては、JREC-IN Portal の「応募書類作成ツール」機能を用いて作成してください。
  - 3) 主要業績 5 点まで
    - ・ 最大 3 点まで、提出する業績のうち、自身で最も主要と思われる業績には PDF ファイルの名称の前に「主要\_」とつけること。（例：「主要\_〇〇△△. pdf」）
    - ・ 電子データで提出できない単著書籍は、応募締切日必着にて、下記住所まで郵送にてご送付ください。なお、単著書籍の郵送を希望される場合は予めご相談ください。返信用封筒をご用意いただける場合は、審査終了後に当該書籍をご返却いたします。
  - 4) 「キリスト教人間学「他者のために、他者とともに」」のシラバスを確認した上で、全学共通教育についての自らの考え、およびできる貢献についてまとめた抱負（A4 サイズ 1 枚程度）
  - 5) 本人の研究・教育について評価できる方（2 名）の連絡先
- ※提出された書類は原則返却いたしませんので、ご了承ください。
- ※提出書類に含まれる個人情報および電子データについては厳重に管理し、今回の採用審査のために使用します。
10. 応募締め切り  
2026年6月30日（火）（JST）必着
11. 選考方法 1 次選考：書類審査  
2 次選考：面接および模擬授業（1 次選考通過者のみ、2026 年 8 月から 9 月中旬頃を予定）  
※ 模擬授業の内容については、1 次選考通過者に別途連絡いたします。
12. 照会先 上智大学基盤教育センター 採用担当  
[saiyo-clcl-co@sophia.ac.jp](mailto:saiyo-clcl-co@sophia.ac.jp)
13. 郵送書類がある場合の送付先  
〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町 7-1  
上智大学基盤教育センター宛  
※提出書類には「キリスト教人間学領域専任教員応募書類」と朱書し、書留郵便（レターパックも可）で郵送のこと

以 上

## 「キリスト教人間学『他者のために、他者とともに』」共通シラバス

### キーワード/Keywords

哲学、神学、キリスト教人間学、他者のために、他者とともに、他者のための存在、〈かかわりの存在〉としての人間、全人的な人間観、キリスト教ヒューマニズム、隣人愛、超越的価値、生きる意味、自由、正義

### 授業の概要/Course description

「キリスト教人間学」は、本学の教育研究の拠り所である「キリスト教ヒューマニズム」が含意する、すべての人を遍く尊厳ある人格としてまらごと尊重する「全人的な人間観」に立ち、人間として生きることの意味や価値、責任や生き甲斐を、「〈かかわりの存在〉としての人間」という視座から問い直す主体的な知的営みと言える。教育理念の“他者のために、他者ととともに”には、誰をも除外することなく、殊に社会の中で弱く貧しくされた人々の“隣人になる”道を示しつつ「他者のための存在」として自らのすべてをささげたイエス・キリストをモデルとして生きてほしい、との本学の願いが込められている。本科目は、一人ひとりが上智での固有の学びや諸活動など多様な経験を生かしながら、具体的に「他者のために、他者ととともに」生きることへと導く基盤として、キリスト教ヒューマニズムに根ざす全人的な人間理解をうながすために設けられた必修科目である。アクティブ・ラーニング（ディスカッション、グループワーク、プレゼンテーション、リアクションペーパーなど）を毎回実施する。

### 到達目標（授業の目標）/Course objectives

キリスト教ヒューマニズムに根ざす全人的な人間理解の涵養に向けた学修のポイント。

- ・自らの生を関係に貫かれたものとして捉え返し、
- ・自らの存在を構成する基本関係（「自己とのかかわり」、「他者とのかかわり」、「自然とのかかわり」、「神とのかかわり」）を同定し、
- ・然るべき関係のあり方についての責任を担うべき主体としての自覚を深め、
- ・よりすこやかな基本関係の構築につながる自らの課題を見出すよう努めつつ、
- ・他者の人格的尊厳を肯定し、
- ・殊に弱く貧しくされた人々の傍に身を置くことの重要性に目覚め、
- ・自ら進んで共通善の拡充に参画することを喜びとしうる心を養う。

### 授業時間外（予習・復習等）の学習/Expected work outside of class

【予習】（所要時間：各回 95 分）

初回については、0 番台「他者のために、他者ととともに」で示された宿題に取り組む。

（レポート課題）

第 2 回目以降は、前回の学びの振り返り、および、講義の中で示された文献・資料を読むなど。（文献・資料購読）

【復習】（所要時間：各回 95 分）

授業内容を振り返り、あらためて考察する。（講義内容の確認や疑問点をメモする）

## 評価基準・割合/Evaluation

出席状況/Attendance (15.0%)

授業参加/Class participation (15.0%)

リアクションペーパー/Reaction paper/in-class assignments (40.0%)

レポート/Report assignments, mid-term/final paper (30.0%)

その他/Others(in detail) : 出席を毎回確認し、評価はリアクションペーパーとレポートを中心に総合評価を基本とする。本科目では、毎回の出席および積極的な授業参加を前提とするものである。

## テキスト(教科書)/Textbook

担当教員によってテキストを指定する場合としない場合がある。

また、テキストを指定する場合でも、担当教員によってテキストは異なることがある。

## 参考書/Recommended readings/reference

担当教員によって参考書を指定する場合としない場合がある。

また、参考書を指定する場合でも、担当教員によって参考書は異なることがある。

参考書を指定する場合には、担当教員が授業の中で案内する。

- ・ 日本聖書協会 『聖書(新共同訳)』(旧約聖書続編つき) カトリック中央協議会, 2009
- ・ 教皇庁正義と平和評議会 『教会の社会教説綱要』
- ・ 教皇フランシスコ 『回勅 ラウダート・シ』

## 授業計画/Class schedule

1	はじめに：0番台「学びを学ぶ」のふりかえり ・ 上智のアイデンティティとしての「他者のために、他者とともに」
2	キリスト教ヒューマニズムとキリスト教的人間観 ・ 他者のための存在としてのイエス・キリスト
3	〈かかわりの存在〉としての人間 (1) 他者とのかかわり
4	〈かかわりの存在〉としての人間 (2) 自然とのかかわり
5	〈かかわりの存在〉としての人間 (3) 自己とのかかわり
6	〈かかわりの存在〉としての人間 (4) 神とのかかわり
7	まとめ：これからの上智での「学びを深める」ために ・ 上智固有の学びの有機的なつながりについて ・ 200番台科目へのイントロダクション

\*必修科目「キリスト教人間学(他者のために、他者とともに)」は共通シラバスを用いて開講されますが、講義スケジュール中の「〈かかわりの存在〉としての人間」(1)～(4)については、授業担当者は自身の専門分野等に基づき、具体的な内容を検討します。

【参考】

以下は講義展開の一例です。

	授業予定 (テーマ) /
1	はじめに：0 番台「学びを学ぶ」のふりかえり ・ キーワード：上智の座・超越的価値・イエズス会教育の特徴
2	キリスト教ヒューマニズムとキリスト教的人間観 ・ 連帯的な全人的ヒューマニズム ・ 関係存在また自己超越的主体としての人格 ・ 他者のための存在としてのイエス・キリスト
3	かかわりの存在としての人間 (1) 他者とのかかわり：隣人愛と社会正義 (社会的公正)
4	かかわりの存在としての人間 (2) 自然とのかかわり：十全な発展と十全なエコロジー
5	かかわりの存在としての人間 (3) 自己とのかかわり：人間の自由と人格的成長
6	かかわりの存在としての人間 (4) 神とのかかわり：神の像としての尊厳と責任
7	まとめ：これからの上智での「学びを深める」ために ・ 上智固有の学びの有機的なつながりについて ・ 200 番台科目へのイントロダクション

以上